

季刊

AMDA Journal

多様性の共存

特定非営利活動法人アムダ (AMDA)
<http://amda.or.jp/>
 特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構
<http://www.amda-minds.org/>
 特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター
<http://homepage3.nifty.com/amdack/>

2009年1月4日(現地時間4時43分) インドネシア共和国西パプア州マノクワリから北西150キロ、ソロンから北東170キロの地点でマグニチュード7.6の地震が発生しました。地震発生直後は、電線の切断で停電が起きました。また、マノクワリのレンダニ空港の滑走路が断裂し、民間飛行便の発着が中止になりました。地震による死者は4人でした。地震の規模と比較すると、死者の数はそれほど多くはありませんでしたが、建物の崩壊により負傷した人が多数いました。

AMDA インドネシア支部は、ハサヌディン大学と連携して、緊急医療チーム(外科医2人、内科医1人、麻酔科医1人、看護師2人)の派遣を決定しました。医療チームは1月4日から19日までの15日間医療支援活動を行いました。道路が破壊さ

2009年4月1日 VOL.32 No.2 定価600円
 発行/AMDA 〒701-1202 岡山市北区櫛津310-1
 TEL 086-284-7730 FAX 086-284-8959
 E-mail:member@amda.or.jp

2009.4
 SPRING

春

国民参加型相互扶助人道支援外交

インドネシア西パプア州マノクワリ地震緊急支援活動



マノクワリで避難生活を送る人々(1月6日撮影)

れていたため被害者のところへ到達するのが難しく、インドネシア海軍のボートを使って海から移動したり、ジープを使って未舗装の道路を通過したりしました。全部で115人の患者を診療し、20件の手術を実施しました。手術は、脚の骨折3件、肘の骨折2件、頭部外傷1件、大腿骨骨折6件、下腿骨折5件、橈骨(とうこつ)骨折3件でした。



マノクワリの地震で破壊されたホテル (1月6日撮影)

(AMDA インドネシア支部長 フスニ・タンラ医師報告)

AMDA カンボジア支部 学校健康教育プログラム

カンボジア王国政府は、国内外の機関とともにHIV/AIDS感染拡大防止策に努め、その感染率は3.6%(1997年)から1.9%(2005年)まで減少しました。

AMDA カンボジア支部は、2004年6月にHIV/AIDS性感染症防止教育学校健康教育プログラムを開始しました。以来このプログラムは、AMDA カンボジア支部の主な活動の一つとして日本から様々な支援を受け、これまでプノンペンにある8つの大学、3つの高校そして3つの現地NGOを通して7,000人を超える学生が受講しています。HIV/AIDSに対する基本的な知識と、社会全体から家族単位におけるHIV/AIDSの影響、正しい感染防止策に対する理解に焦点をあて、警告と防止について記載したパンフレットを配布しています。昨年は10月17日にAMDA カンボジア支部の事務所で同プログラムのトレーニングを実施。さらに受講生が、



自分の友人や隣人にこの教育プログラムを行い、パンフレットやニュースレターを配布しました。この活動は、大学や学校関係機関の学生・生徒2,000人に伝わり、ますます拡大することが期待されています。

2月13日にインド・カルナタカ州で、マニパール大学、岡山大学、AMDAの共催で「災害医療に関するNGOと大学の国際協力シンポジウム」が開催されました。このセミナーは、岡山大学大学院の教育プログラムとしても位置付けられており、日本からは、この教育プログラムの指導委員でもあるAMDAグループ代表の私と岡山大学から土居弘幸教授、大学院生らが参加しました。この機会を捉え、AMDAはマニパール大学などと災害医療訓練協定を結びました。この協定により、WHO（世界保健機関）との協力による南西アジア6カ国のAMDA支部、マニパール大学などとの迅速な救援活動が可能となりました。協定前にもマニパール大学はオリッサ州の洪水(1999年)、グジャラート州の大地震(2001年)、タミル・ナードゥ州の津波(2004年)などによる被災者救援活動に、AMDA多国籍医師団の一員として医療チームを派遣しています。驚いたことに、マニパール大学は災害総合対策プログラムとして、コミュニケーション学部による災害情報を住民に提供するコミュニティ放送、建築学部による被災地の家屋の復興への建築学などを整備すること、地域医療学部による災害訓練センターを発足させることがAMDAとの協定の目的でした。この夏にはAMDAと協力して災害救援研修プログラムを実施する予定です。レスキューチームを含めた救援医療チームの現地研修がその内容です。更に、来年に発足するAMDA-マニパール大学災害訓練センターにはカルナタカ州が協力をするとのこと。州政府のマニパ



AMDAインド支部長カマト医師・岡山大学土居教授・マニパール大学国際部部長バット医師・同大学副学長バラル医師・AMDAグループ菅波代表（左から）



AMDAインド支部ラジバット医師・土居教授・バット国際部部長・バラル副学長・菅波代表・カマトAMDAインド支部長

ール大学への大きな期待が理解できます。マニパール大学はガンジーを崇拝するT.M.A.パイ氏により1953年、無人の地であるマニパール峡谷に創設されました。現在では毎年15,000人が入学する総合大学です。大学の知性の象徴である図書館はアジア最大といわれています。医学部の総合ランキングは2004年全インドで第3位であり、特徴は医学生生の3割が海外からの留学生です。キャンパスがネパール、マレーシアそしてドバイにもあります。その卒業生は世界50カ国に広がっています。マニパール大学を中心としたマニパール市は人口が20万人ですが、「知性の州」といわれているカルナタカ州の象徴として今後も膨張していくと思われま。21世紀は国際ネット

ワークをもつマニパール大学の時代でもあるのです。

コミュニケーション学部の学部長であるカマト教授は、叡智あふれる81歳。インド通信の記者としてガンジー、毛沢東、周恩来、スカルノ、マーティン・キングなど20世紀を代表する世界の指導者に直接インタビューをした豊富な経験を持っています。AMDAが提唱する「相互扶助に基づく尊敬と信頼の国際ネットワークによる世界平和推進の理念」に共鳴して、「インド274地域すべてにAMDAクラブのネットワークを設立しAMDAの活動を推進しよう」との提案をしてくれました。カマト教授の人的ネットワークとマニパール大学のネットワークを合わせれば不可能ではない気がしました。有難い提案です。その場にいた土居教授が2008年に私がガンジー人道賞を受賞したことを報告すると、すぐさま立ち上がってお祝いの拍手をしてくれたことが印象的でした。

数年前からの米国発の金融恐慌に続く世界恐慌により米ドルが世界基軸通貨の地位を失い、北米、中南米、ヨーロッパそしてアジアにそれぞれの地域通貨が出現すると予測されています。アジア通貨は日本、中国、インドそしてロシアが深く関与する可能性が高いです。重要な役割を担うインドにおいて構築されるAMDAのネットワークが、災害医療のみならず日本とインドとの尊敬と信頼のネットワークとしてお役に立つことができれば、過去25年間多くの人たちに支援されてきたAMDAグループの代表として最高の喜びです。

インド・ブッダガヤにAMDAピースクリニック建設開始

AMDAは、インドにおけるこれまでの緊急救援及び様々な活動を通して、カースト制度における仏教徒の人たちが少数派(1%以下)であり、貧困層に位置することを知りました。支援策と



視察する菅波代表とカマトAMDAインド支部長

して、仏教徒の聖地であり、医療施設も不十分なビハール州ブッダガヤでAMDAピースクリニック建設事業を開始することを2004年に決定しました。2005年12月には、菅波代表がAMDAインド支部長でマニパール大学アユルベーダ学部長のカマト医師とともにブッダガヤを訪れ、周辺の医療事情を視察しました。観光地として有名なブッダガヤではありますが、医療事情は劣悪であることがわかり、「AMDAピースクリニック」を開設し、海外からの支援を待つだけでなく、現地の人たちが自らお互いを支えあうすべを見出してもらおう手助けをしたいと考えました。ブッダガヤが世界遺



建設中のAMDAピースクリニック（手前）

産であることから建築基準に対する法律が度々変更され、建設開始までに随分長い時間を要しました。今年11月には開所式を行い、AMDAインド支部長カマト医師の監修のもと、富裕層、貧困層ともに利用できるクリニックの運営を開始する予定です。



栄養改善のデータを確認する難民スタッフ



市場に集まるサンチー族の女性たち

難民の力

AMDA 社会開発機構 アフリカ・中南米チーム長
田中 一弘

海賊対策のニュースでにわかに関心を浴び始めたジブチ共和国。これまで私たちが難民支援を15年以上実施してきたこの国がこうして日本で少しでも知られるようになることは嬉しいことです。さて、「難民」という言葉を聞くと、支援を必要としている人というイメージが強いのではないのでしょうか。もちろんそのイメージは間違っていないかもしれませんが、必ずしも正しくはないのです。難民の中にはとても色々な能力を持った人たちがいます。考えれば当たり前のことなのです。祖国でいろんな勉強をし、仕事をしてきた人たちなのですから。

AMDA 社会開発機構は、現在国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) の実施パートナーとして難民キャンプの診療所で保健医療を提供していますが、その中で、栄養失調児に対する栄養改善活動を行っています。そして、その活動を実施しているのは他でもない難民自身です。UNHCRはHealth Information Systemというものを導入し、世界の全キャンプ共通の保健医療データの管理を行っていますが、ここジブチの栄養改善活動に関するデータを収集するのは難民スタッフです。毎日栄養失調児の体重を図り、その体重に合わせて治療用の高栄養ミルクを提供し、日々の成長を追っていく。簡単な作業ではありません。そして、その週に無事回復した子どもたちが1日あたり、そして体重1キロあたり何グラム増えたかを計算するのです。その数値が、栄養改善活動の有効性を測る指標となります。その計算方法を十分に把握できていなかった彼らに、実際の例を示しながら教えたところ、すごく熱心に学んでいました。そして次の週にはその数値を計算するためのノートを用意していたのです。

先日、難民スタッフの一人から「いろいろと教えてくれてありがとう」という言葉をもらいました。正直すごく嬉しかったです。もちろん、単にありがとうと言ってくれたことに対してではなく、難民キャンプという過酷な環境のもと、向上心を持ち、学ぶことを素直によるこべる人に出会えたことに対してです。私も、こうして彼らから学び、そしてそれを素直に嬉しいと思える環境に感謝したいと思います。

多民族国家ベトナム

AMDA 社会開発機構 ベトナム事業統括代行
梶田 未央

ベトナム社会主義共和国での活動は、緊急救援活動では1996年から、地域開発活動としては2002年から続き、現在は首都ハノイから約300km北上したバクナム省バクナム郡にて、山岳少数民族を対象とした「母子健康促進事業」を実施しています。今年で3年目を迎える本事業は、①女性を対象とした村落保健教育、②トイレ建設及び家畜糞のコンポスト設置を通じた環境衛生の向上、③地域保健医療サービスの向上、を軸に活動を行っています。

一口にベトナム人と言ってもその内訳は多様で、人口の9割近くを占めるキン族を含め54の民族が暮らしている多民族国家です。山岳地帯であるバクナム郡では、キン族を見かけることはごく稀で、タイ族やモン族、ザオ族など6つの少数民族が暮らしています。それぞれの民族がそれぞれの言葉・習慣の中で生活しており、毎週開かれる市場に各民族の伝統衣装を着た人々が集う様子は大変美しいです。

この地ではベトナム語(キン語)よりも人口の多数を占めるタイ族の話すタイ語が日常の共通語ですが、モン族やザオ族など他民族の村人の中にはベトナム語やタイ語を解さない、または理解できるがあまり得意ではない人も多います。そのため日常の活動の中で、ハノイ出身の事業スタッフが話すベトナム語をバクナム郡出身のスタッフがタイ語に訳し、それを村人がザオ語やモン語などに訳すという、通訳のリレーが行われることもしばしばです。

こうした言葉の違いはあっても、彼らが生活を向上させたいと願う気持ちは同じなので、どの民族の人々も言語の壁に阻まれることなく恩恵を受けられるよう事業を進めていきたいと考えています。

特定非営利活動法人AMDA社会開発機構は
事務所を移転しました。

お知らせ

【新事務所】

〒700-0818 岡山市北区蕃山町4-5 岡山繊維会館3階
TEL 086-232-8815 (変更なし)
FAX 086-232-8816 (変更なし)

あすか健康村音楽祭開かれる



パンフルート「備前の風」今井 勉、ピアノ：西村一穂

2月22日、岡山シンフォニーホールにて、AMDA設立25周年記念・あすか健康村音楽祭が開かれ、悪天候の中1,700人余りの方々がお越しくださいました。そして多くの方々から、感動したというお声をいただくことができました。

ボランティアで出演くださったプロの音楽家の方々、日本の子どもたちと在日外国人の子どもたちの歌や演奏、裏方の各部門を支えたボランティアの方々、多くの方々の思いが一つになってホールが感動に包まれた一日でした。改めて関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

便利な口座振替で年会費が納入できます！

平成21年度から、殆どの国内金融機関からの口座振替が可能となりました。会費期限にあわせて各会員様に随時ご案内差し上げますので、口座振替依頼書に必要事項をご記入押印の上、当事務局までご送付ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

■ AMDA 会員の募集

	年会費	※医師・一般・学生・法人会員には、活動報告誌「AMDAジャーナル」を年4回、「AMDA ダイジェスト（AMDA ジャーナル号外）」を年2回、賛助会員には、「AMDA ダイジェスト（AMDA ジャーナル号外）」を年2回送付しています。
医師会員	15,000円	
一般会員	10,000円	
学生会員	7,500円	
法人会員	30,000円	
賛助会員	2,000円	

*入会ご希望の方は、同封の郵便払込取扱票をご覧ください。ただし、必要事項をご記入の上ご入会の手続きをお取りください。

緊急救援活動への参加を希望される方の登録制度 AMDA「ERネットワーク」のご案内

AMDAは自然災害、紛争等による被災者（難民）に対応するため、緊急救援活動を実施してきました。より迅速な初動体制を確立するため、登録制度「ERネットワーク日本」を整備しています。緊急救援活動派遣を希望される方（医師・看護師・助産師 他）は、「ERネットワーク」にご登録ください。資料をご希望の方はご連絡ください。なお、ご登録者には緊急救援初動の際にお声をかけさせていただきますが、登録により活動参加義務が発生することはありません。登録に関するお問い合わせは下記をお願いします。

特定非営利活動法人 アムダ 〒701-1202 岡山市櫛津310-1
TEL: 086-284-7730 FAX: 086-284-8959 E-mail member@amda.or.jp

ご案内

第2回 あすか健康村フェスティバル



昨年のフェスティバル風景／トルコ料理

日時 4月19日（日）10時～15時（小雨決行）
場所 岡山市櫛津（180号線・平津橋バス停北）
茶山亭・こちょう庵周辺

こどもの遊びコーナー、国際交流コーナー、健康・介護相談コーナー、食べ物コーナー、演芸発表コーナーなど多様な催事です。どうぞ遊びに来てください。

バザー用品募集

AMDAではバザー用品を集めています。

4月14日までにご持参いただければ幸いです。

お問い合わせ：086-284-7730（AMDA事務局内）
主催：あすか健康村フェスティバル実行委員会

2009年1～2月の動き

<講演>

1/17	ふるさとづくりももたらう塾
1/29	広島医学会北部支部大会
2/4	岡山市立平津小学校
2/7	ボーイスカウト日本連盟 中国・四国ブロックトレーナー研究集会
2/14	第36回定通集会（岡山県内定時制/通信制高校 高校生・教員）
2/23	岡山西ロータリークラブ

<講義>

1/9	岡山大学保健学研究科
-----	------------

<本部訪問>

1/24	ひろしま国際塾
------	---------

<イベント>

2/22	AMDA創立25周年記念「あすか健康村音楽祭」
------	-------------------------

書き損じハガキを 集めています

書き損じハガキがありましたらAMDAまでお寄せください。切手と交換し、通信費として使わせて頂いています。また、未使用切手・ハガキも集めています。

※お問い合わせは
TEL 086-284-7730
FAX 086-284-8959

2009年度 AMDA 高校生会メンバー

募集

APPEAL

ボランティアをやりたい
高校生のみなさん
あなたの参加を待っています！



募金活動やイベント、
セミナー、いろいろな
ボランティア活動が盛りだくさん



国際協力を通して
世界の問題を見つけよう！



高校生が途上国のために
できることが必ず
見つかるよ！(^_^)!



AMDA の活動を身近に
感じとることができるよ！(^_^)v



Join us ☆

お問い合わせ先：高校生会担当 難波まで

TEL 番号：086-284-7730

高校生会メールアドレス kizuna@amda.or.jp

URL：http://amda.or.jp/about/content0044.html

AMDA 医療と魂のプログラム

AMDA Soul and Medicine Program : ASMP (アスンプ)

AMDAでは緊急救援活動を通して、かつての第二次世界大戦に巻き込まれた人々の現実と向き合ってきました。AMDA医療と魂のプログラムは、アジア各地の平和の構築を目的として2000年に開始されました。戦没者の人権については、宗教者による合同慰霊祭を、戦争に巻き込まれた人々の家族には、AMDAの医療を通して平和の追求を行おうとする宗教者の方々との合同事業です。

本年度は、2004年12月に発生したスマトラ島沖大地震・津波の際のAMDA緊急救援活動地で自然災害被害者やその家族のために、AMDAネパール子ども病院10周年記念式典で、病院で亡くなった赤ちゃんや母親のためにもこの事業は実施されました。

2008年度 AMDA 医療と魂のプログラム



モンゴル・ウランバートル市



インド・チェンナイ市



ネパール・ブトワール市

戦没者慰霊				
年月	実施国	参加宗教	現地参加宗教	参加者数
2008年6月	モンゴル	大本・天理教	モンゴル仏教	180
スマトラ島沖大地震・津波、被害者慰霊				
2008年2月	インド	臨済宗	仏教、ヒンドゥー教	70
AMDA ネパール子ども病院10周年記念式典				
2009年1月	ネパール	真言宗	ネパール仏教、ヒンドゥー教 キリスト教、イスラム教	228

AMDA 竹原クラブ設立

勤務していた病院を2005年に退職し父の営む病院への入職前に、念願だった医療ボランティア活動に参加するためAMDAの門をたたきました。

2004年末に起きたスマトラ沖大地震津波の最大の被災地インドネシアスマトラ島バンダアチェで麻酔科医として3か月間活動に参加したところから、私とAMDAとインドネシアの関係は始まりました。

その時にともに支援活動をしたインドネシア国内の麻酔科医らの依頼で、帰国後日本での臨床研修の橋渡しをすることとなり、私の前職場である県内の尾道総合病院麻酔科、外科などへ2人ずつ3ヵ月交代で医師を受け入れていただくこととなりました。これまでに30人の医師が

研修を終了し、現地の人々の診療に従事しています。彼らの日本滞在中の支援や交流を通して、多くの学びがあり、私たちのほうが医療研修以上に財産を得たように感じます。

また、医科大学生でもあった現地スタッフと当時、金銭や精神的にダメージを受けた子どもたちのために、AMDA



インドネシア・アチェにて（筆者中央）

の医療活動終了後も何らかの支援活動を続けることはできないかと考えました。そこで彼らへの憩いの場を作り、教育や手仕事研修、また製作物の販売を行い自立支援することを目的にワークショップ兼学習塾「ほのぼののインドネシア」を個人で始めました。ボランティア活動とビジネスを融合させて「ほのぼの」自身が自立していくことを目標に試行錯誤しています。昨年インドネシア国内の若い企業家協議会で優秀賞をいただき、新しいビジネスモデルとしての成功例となれるよう、現地の仲間とともに引き締めているところです。

このたび2月1日付で、AMDAクラブの一員として標榜させていただけることとなり、多くの同士と知り合える新たなチャンスとなることを期待し感謝しています。

「人と人の関わりの中で幸せは生まれる」を合言葉に、これからも出会えた運命を大切に、地道な活動を通じ皆で幸せをもらいながら、活動していきたいと思ひます。

どうぞよろしく願ひいたします。

AMDA 竹原クラブ（広島県竹原市）

クラブ長 安田 真衣子

人材育成を支援する活動 - AMDA 神奈川支部

AMDA神奈川支部では、ネパールの医療人材の育成を様々な側面から支援する活動を1998年から継続しています。近年は学ぶ機会の提供にと、医学専門書の寄贈を行っており、AMDAカナガワライブラリーと命名されよく利用されています。また、低開発地域の女性の教育に厚い御心を寄せられたモリヒロ様による奨学金を、能力と意欲はありながら勉学の機会に恵まれない女子学生に贈呈する橋渡しをしてきました。この奨学金により専門教育を受け、看護師になった女性は22人となりました。2008年6月、AMDA国際医療情報センターの柘植靖子氏とともに、私にとっては3度目となるネパール活動地視察に出かけ、その中でモリヒロ様慰霊祭も行い、息の長い人材育成支援に向けての思いも新たにしました。

AMDA 神奈川支部副代表 松本 哲雄



モリヒロ慰霊祭。左から、柘植氏、奨学生OG3人、筆者。右端の奨学生OGは第1期生で、現在は看護師としてブータン難民キャンプのプライマリヘルスセンターで働いています。

■ AMDA プロジェクト ご支援のお願い

ご寄付の際には、郵便払込取扱票をご利用ください。指定寄付の場合には、連絡欄に、活動実施地名あるいは事業名をご記入ください。

※郵便振替

口座番号 01250-2-40709
口座名 AMDA

- AMDA 支部（国内）
AMDA 神奈川支部
AMDA 兵庫県支部
AMDA 沖縄支部
- AMDA クラブ
AMDA 鎌倉クラブ
AMDA 高知クラブ
AMDA 福山クラブ
AMDA 竹原クラブ
AMDA 神女クラブ
(神戸女子大)
- AMDA 高校生会

■ ボランティア大募集

年齢や性別にかかわらず、事務局のお手伝いなどをしてくださるボランティアを幅広く募集しています。お気軽にお問合せください。

※ボランティアに関するお問合せ先：

ボランティアセンター TEL：086-284-7730
E-mail：member@amda.or.jp

チャリティショップくるりん

売上げの一部を義援金に

阪神淡路大震災を機に物資が集まる所として「リサイクルスペースくるりん」は出来ました。あれから14年…名前が変わり「チャリティショップくるりん」となった今も、たくさんの人に支えられています。

寄付してもらった物を代価に変えて売上げの一部を義援金として国内外の被災地に送金しています。

送金先としてAMDAを選んでいる理由は迅速な行動、送金したお金の流れ、活動内容がはっきりしているなどです。スタッフの皆さんこれからも頑張ってください。



〒663-8203 兵庫県西宮市深津町3-27
(阪急西宮北口駅南へ約5分)

TEL・FAX 0798-67-6641

ホームページ <http://www.kururin.org/>

ママリング株式会社

より多くの女性と社会をつなげる役目として

ママリングが目指すものは、「さまざまな企業様の女房役として存在し、仕事を通じて女性と社会をつなげる役目」として存在することです。

私たちは、クライアント様の夢実現をサポートするための業務代行や、ウェブ制作、ライティングを行なうコンサルティング会社として、2005年に誕生しました。現在は、複数の業務提携会社様のお力を得ながら、あらゆる制作業務もお受けし、ママリング自社内の業務は、それに付随する管理・サポート・代行業務が主な業務となっております。

市場の一人勝ちを目指すのではなく、クライアント様と共に成長していくことでママリングもより多くの女性と社会をつなげる役目として成長させていただけることが私たちの喜びです。

私たちの収益の一部が多くの人々のお役に立てることを願い、AMDAの活動を支援させていただいております。



井後史子代表取締役

ママリング株式会社

〒578-0972

大阪府東大阪市鴻池町2丁目41 ホワイトビル3F・4F

TEL 06-4309-2331

ホームページ <http://www.mamaring.co.jp/>

医療器材・医療消耗品 ご寄贈、更新

西本薬品株式会社(本社岡山市)様より、昨年5月に引き続き、医療用手袋、包帯、マスク、救急絆創膏等の医療消耗品をご寄贈いただきました。今後、緊急救援活動の際に活用させていただきます。



富士ゼロックス株式会社様より、救急箱・小外科セット・水筒・血圧計・ガーゼなどの医療物品をご寄贈いただきました。国内外の緊急救援活動の際、前回頂戴した聴診器・血圧計と同様に、巡回診療や病院支援活動に活用させていただきます。

これまで、ジャワ島中部地震緊急救援活動へのご寄付をはじめ、長年ご支援いただいております。



ECC 地球救済キャンペーン様よりご寄付をいただき、緊急救援時に使用する医療器材を更新しました。今回更新した器材は、ディスプレイ・メス、縫合に使用する絹糸・ナイロン糸・針、耳式体温計、電子体温計、メディカルバッグ、カルテの印刷等です。

同キャンペーンは、1969年から続いている世界平和の為の募金活動で、長年ご支援いただいております。

